
参考資料

1. 計画策定の経過
2. つくみ子ども育成支援後期行動計画策定委員会
3. つくみ子ども育成支援後期行動計画専門委員会
4. つくみ子ども育成支援行動計画庁内推進会議

1. 計画策定の経過

本計画は、策定委員会・専門委員会・庁内推進会議の3つの会議を重ねて策定しました。計画策定の経過は下表のとおりです。

会議名称 開催年月日	会議内容等
第1回庁内推進会議 平成21年6月25日	<ul style="list-style-type: none"> ○後期行動計画について <ul style="list-style-type: none"> ・次世代育成支援対策推進法の概要 ・行動計画策定指針 ・策定フロー ○前期計画の点検・評価について
第1回策定委員会 平成21年9月3日	<ul style="list-style-type: none"> ○委嘱状交付 ○後期行動計画について <ul style="list-style-type: none"> ・後期行動計画の背景・概要等 ○ニーズ調査について <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査の概要・調査結果等 ○前期計画数値目標・実施状況について ○策定スケジュールについて ○講演 『未来に輝く津久見っ子育て』 <ul style="list-style-type: none"> ・講師：つくみ子ども育成支援後期行動計画アドバイザー 松田順子氏（東九州短期大学特任教授）
第1回専門委員会 平成21年9月18日	<ul style="list-style-type: none"> ○委嘱状交付 ○後期行動計画について <ul style="list-style-type: none"> ・後期行動計画の背景、概要等 ・ニーズ調査の概要 ○前期計画数値目標・実施状況について ○策定スケジュールについて ○グループワーク 『今の子育て・昔の子育て』
第2回専門委員会 平成21年10月16日	<ul style="list-style-type: none"> ○講演 『あなたの輝きが 津久見の未来を開く』 <ul style="list-style-type: none"> ・講師：つくみ子ども育成支援後期行動計画アドバイザー 松田順子氏（東九州短期大学特任教授） ○グループワーク 『前期計画をふりかえり、良かった点や課題を見つけよう』
第2回策定委員会 平成21年10月27日	<ul style="list-style-type: none"> ○後期行動計画について <ul style="list-style-type: none"> ・津久見市における少子化の動向 ・後期計画における課題の抽出 ・後期計画の基本理念と基本目標

会議名称 開催年月日	会議内容等
第2回庁内推進会議 平成21年11月18日	○後期行動計画策定委員会・専門委員会経過報告 ○後期行動計画の数値目標の設定について
第3回専門委員会 平成21年11月25日	○施策体系の再整理 ・基本理念及び基本目標について ・施策体系について ○グループワーク 『具体的な取り組みを考えよう』
第3回策定委員会 平成21年12月1日	○基本理念及び基本目標の設定について ○施策目標及び数値目標について ・庁内推進会議の報告 ・第3回専門委員会の報告
第3回庁内推進会議 平成21年12月11日	○後期行動計画の基本理念・基本目標について ○数値目標一覧の整理・委員からの意見
第4回専門委員会 平成21年12月18日	○素案策定の経過 ・基本理念及び基本目標の決定 ・具体的施策についての意見・アイデア ○後期行動計画素案について ・素案の構成 ・施策体系について ・数値目標について ○グループワーク 『津久見市のめざす姿について』
第4回策定委員会 平成21年12月28日	○素案策定の経過 ・基本理念及び基本目標の決定 ・具体的施策についての意見・アイデア ○後期行動計画素案について ・素案の構成及び施策体系について
パブリックコメント 平成22年 1月13日～2月3日	○インターネット等による市民意見の公募 ・後期行動計画素案について：2件 ・津久見市のめざす姿（キャッチフレーズ）について：24件
第5回専門委員会 平成22年2月22日	○パブリックコメントについて ○津久見市のめざす姿（キャッチフレーズ）について ○後期行動計画（案）について
第5回策定委員会 平成22年2月24日	○パブリックコメントについて ○津久見市のめざす姿（キャッチフレーズ）について ○後期行動計画（案）について

2. つくみ子ども育成支援後期行動計画策定委員会

(1) つくみ子ども育成支援後期行動計画策定委員会委員名簿

分野	関係機関・団体名	役職名	氏名	備考
津久見市	津久見市	副市長	宇都宮 崇	委員長
議会	津久見市議会 総務民生常任委員会	委員	金 只 昌 平	
地域	津久見市区長会	副会長	松 本 輝 利	
	津久見市民生委員児童委員協議会	会長	後 藤 幸 信	副委員長
教育	津久見市教育委員会	教育委員	鳥 越 繁 一	
	津久見市小中学校長会	小学校長	内 田 恵	
医療保健	津久見市医師会	医師	小 宅 民 子	
	津久見市食生活改善推進協議会	会長	石 井 和 子	
労働	津久見商工会議所	専務理事	新 名 敏 秀	
保育	津久見保育協議会	代表	古 谷 和 足	
幼児教育	津久見市私立幼稚園協会	会長	川 村 浩 史	
健全育成	津久見市連合PTA	副会長	中 野 恭 次	
	津久見市子ども会育成連絡協議会	副会長	花 宮 由 美	
児童福祉	津久見市母子寡婦福祉会	会長	濱 田 由美枝	
	NPO法人やまびこクラブ (児童館)	理事	倉 原 英 樹	
	母親クラブ	代表	矢 野 奈穂子	
企業	(株)タイセイ	専務取締役	児 玉 佳 子	

アドバイザー	東九州短期大学 特任教授	松 田 順 子	
--------	--------------	---------	--

事務局	福祉事務所	所 長	増 田 浩 太	
	福祉事務所 子育て支援班	主 査	戸 田 尊 道	
	福祉事務所 子育て支援班	主 任	長 英一郎	

(2) つくみ子ども育成支援後期行動計画策定委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 次世代育成支援対策推進法(平成15年法律第120号)の基本理念に基づき、次代の社会を担う子どもが健やかに生まれ、かつ、育成される社会の形成を実現するため、つくみ子ども育成支援後期行動計画(以下「行動計画」という。)策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について調査検討を行う。

(1) 行動計画の策定に関する事項

(2) その他行動計画の策定に関して必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、20人以内の委員で組織する。

2 委員会は、各種団体の役員、識見を有する者その他市長が必要と認める者で構成する。

3 委員会に委員長及び副委員長を置く。

4 委員長には津久見市副市長を、副委員長には民生委員・児童委員協議会長をもって充てる。

5 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

6 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、行動計画の策定が完了するまでとする。

(委員会の会議)

第5条 委員長は、会議を招集し、その会議の議長となる。

(専門委員会)

第6条 委員会の円滑な運営を図るため、委員会につくみ子ども育成支援後期行動計画専門委員会(以下「専門委員会」という。)を置く。

2 専門委員会は、行動計画に係る専門的な事項を調査研究する。

3 専門委員会の委員(以下「専門委員」という。)は、識見を有する者その他市長が必要と認める者で構成する。

4 専門委員会の会議は、委員長が招集し、専門委員会の議長は専門委員の互選とする。

5 専門委員会は、調査研究、審議の経過及び結果を委員会に報告しなければならない。

(関係者の出席)

第7条 委員長は、必要に応じて委員会及び専門委員会に関係者の出席を要請し、意見を求めることができる。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、福祉事務所において処理する。

(その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が定める。

附 則

この告示は、公示の日から施行する。

3. つくみ子ども育成支援後期行動計画専門委員会

(1) つくみ子ども育成支援後期行動計画専門委員会委員名簿

関係機関・団体名	氏名	備考
主任児童委員	矢田 加代子	
津久見商工会議所女性会 会長	薬師寺 小夜	
小学校PTA 女性部部长	小代 照代	
NPO法人 ピースワークつくみ 理事長	江野畑 美代子	
ボランティアグループ たんぽぽ	御幡 秀子	
家庭児童相談員	中津留 和子	
栄養士	小手川 京子	
小学校 教諭	中谷 主税	議長
幼稚園 教諭	石田 由貴美	
保育所 保育士	吉田 美鈴	
地域子育て支援センター 保育士	藤澤 勢子	
市民公募	丸木 恵	
市民公募	川野 久美	
市民公募	川野 万里	
市民公募	小手川 智晃	
市民生活課 生活・安全班 主査	村本 恵	
まちづくり推進課 政策企画班 主任	小野 健司	
都市建設課 管理建築班 主査	渡辺 圭	
学校教育課 課長	仲村 善彦	
健康推進課 保健師	上野 洋美	
生涯学習課 生涯学習班 主査	金丸 美保代	
福祉事務所 障がい者支援班	石田 真一	
福祉事務所 子育て支援班 主査	江藤 章子	
アドバイザー	東九州短期大学教授 特任教授	松田 順子
事務局	福祉事務所 子育て支援班 主査	戸田 尊道
	福祉事務所 子育て支援班 主任	長 英一郎

(2) 専門委員会グループワークの実施

専門委員会ではグループワークを通じて、津久見市の子育ての状況や課題、改善策や新しいアイデア等、地域の子育てに関わる皆さんの「生の声」を集めています。

○ 第1回専門委員会グループワーク

第1回専門委員会では、これまでの子育てを振り返って思うこと、今の子育てや今後の子育てについて感じていることを自由に書き出していただきました。

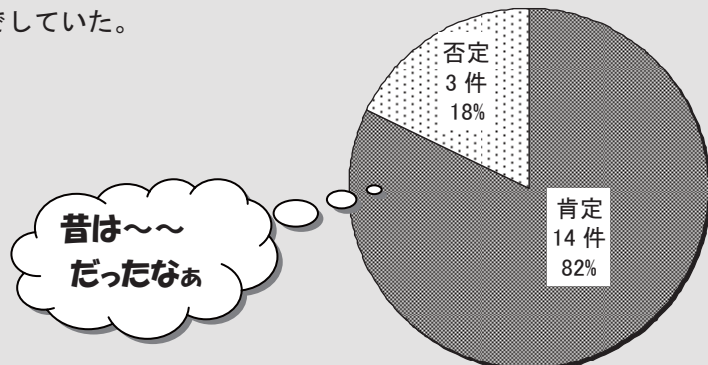
意見を分類すると、津久見市の子育てについて、下記のような特徴・ヒントが見つかりました。

○昔の子育て環境を肯定する意見が多く、今の子育て環境には否定的な意見が多く聞かれました。

○今後の子育てに対して、「不安>楽しみ」という傾向が見られました。

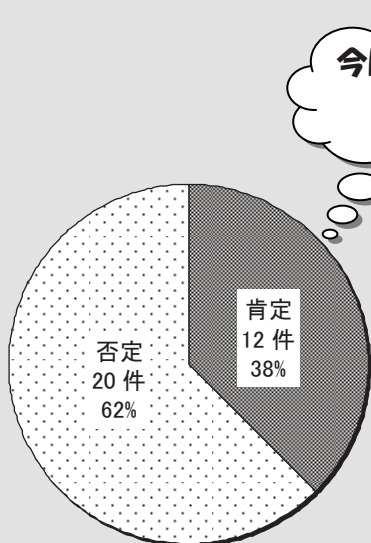
昔の子育ての知恵や経験を活かし、子育てへの不安をなくす取組が必要

- ・地域での集団遊び、山や川で虫とり魚とりをしていた。
- ・昔は近所のおじちゃん、おばちゃんでも悪い事をすれば怒られた。
- ・私達の育つ頃は勉強より家の手伝いの方が大事だった。
- ・昔は遊ぶところが多かった。
- ・昔は子どもが多く良かった。
- ・私達の子育て時代は今みたいな支援がなかった。
- ・市内の商店街でゲームをしてオリエンテーションしながら歩き回った。
- ・子どもの頃は小さい頃から外で遊んでどろんこになっていました。
- ・昔は知らない人に道を聞かれても、親切に答えなさいと親に言われていた。
- ・薪で炊いた給食をみんなよく食べてくれました。七輪でクッキーを焼いておやつにした事もありました。
- ・共働きだが私が子育てする時はどんなに忙しくてもご飯を作っていた。
- ・放課後児童クラブもなかったなので、子どもたちは友達同士で遊んでいた。宿題をして遊び門限までには家に帰る約束を親子でしていた。



○今は、昔と比べて様々な支援策も増え、生活の利便性も向上しましたが、それが本当に子どもや家族のために良いことなのか疑問を感じることも少なくないようです。

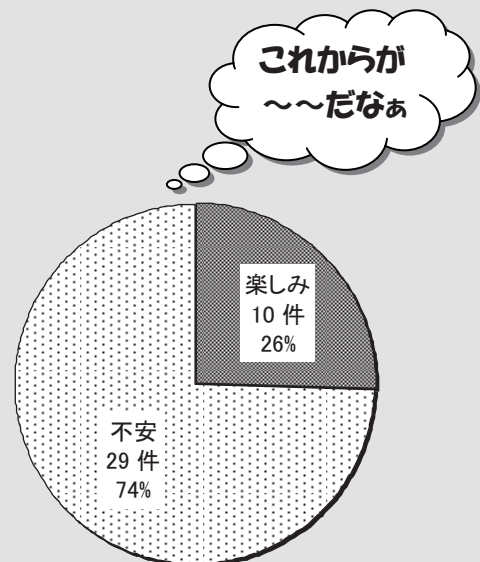
- ・今は他人の子どもを叱ることに抵抗がある。
- ・地域のつながりが希薄になっている。
- ・個人遊び、与えられた集団、家の中でTVゲーム
- ・参観日など父親の参加が増えたがPTAは母親が多い。
- ・メールやインターネットの普及で相手を見て、あるいは直接話すことができない、苦手。
- ・何でも買える。(うらやましい反面、これでいいのかなとも思う)
- ・近所に子どもがいない、友達がいないので我が子を車にのせて友達の家へ遊びに行く。
- ・お母さんにとって便利なことが多いが、子どもの為になっているか疑問に思うことも多い。
- ・習い事やスポーツ活動が毎日のようにあり、特定の子どものしか遊ばない。
- ・子ども用品がリサイクルショップにいっぱいある。
- ・不審者の子ども連れさりとかをニュースで聞くと怖いです。
- ・今はルールが多くて窮屈。(ブランコは怪我をするから危険等)
- ・昔とくらべて、道路も車も多くなっているのに、小学校の登下校が心配。
- ・今は7:00~19:00と預けられる時間が長くなったので、平日親子ですごす時間が少なくなっている。
- ・遊びがこじんまりしてきた。(怪我を心配して、経験させることが制限されてしまう)
- ・今は外食産業が進んでいるので安易に入手する事ができる。
- ・今は母親が歯医者、美容院に行きたい時に見てもらえる場所がある。



- ・生活の中で知恵の使い方を学ぶような子育てをしたらいいと思う。
- ・これからの全てが楽しみ。初めて歩く、話すといった事を忘れずに色々なことを子どもと共に喜べる親でありたい。
- ・子どもの成長 子どもを通して親育ちができる事（出逢い）。
- ・自分の子どもが小学校に入る時は何人いるか。
- ・子どもの成長、どんな大人になっていくのか楽しみ。
- ・もう1人（今はオトコ2人）欲しいが経済的に不安。
- ・子どもの日々の成長を見ることが出来るのは楽しい。
- ・子どもの心の弱さ（耐性はどう育てるのか）
- ・経済的な不安が大きい。
- ・子どもが生まれて15年経ちました、この先の進路問題が不安。
- ・子育てを他人（マニュアル）に頼りすぎだと思う。
- ・育児不安を持つ母親が多くなってきている。
- ・働く女性が多くて大丈夫かと心配です。
- ・子どもはもう1人欲しいとは思うけど、やっぱり体がついていかないだろうし家計苦しくなりそうです。
- ・仕事もしたいけれど、子守りをしてもらう父母が元気な内はいいけど、もし病気やケガで子守りができなくなった時の託児が心配です。
- ・昔は母親が家において、子育てがあたりまえだったが（隣近所にも子育て中のお母さんがたくさんいた）、現在は単独で子育てをしているように見える。
- ・今の子ども達が大きくなった時、世の中がどんな風が変わっていくのか不安。



グループワークでの意見交換



○ 第2回専門委員会グループワーク

第2回専門委員会では、5つのグループに分かれ、前期計画で設定した8つの基本目標ごとに「改善された点・評価できる事業」、「改善すべき点・今後の課題」について意見を出し合い、前期計画の評価を行いました。

改善された点・評価できる事業	改善すべき点・今後の課題
<ul style="list-style-type: none"> ・ 育児サークルでママ友達ができて、その後の友達付き合いも続いている ・ 幼稚園の一時預かり保育が助かる（安価で預かってくれる） ・ シルバー人材センター（よいこの部屋）は、気軽に利用できるようになっている ・ 5歳児健診を行なっている ・ 中学生の職場体験の受け入れ先が増えた ・ つくみん公園が出来て、子どもを広々とした所で遊ばせることができる ・ 地区の大人の方々が子ども達の登下校中に声かけする姿を見る、子ども達もよく挨拶をしている、みんなで見守りたい ・ 乳幼児の赤ちゃん訪問、プレママセミナーなど、赤ちゃんに対するサービスはとても充実している 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て支援に関わる団体のネットワークづくりができた（横のつながり） ・ 昔の子育てを知っている人の話を聞く機会が少ない ・ 子どもの体力不足に歯止めがかかるといいな ・ 各地区の小さな公園のイメージが暗い、明るい遊具の設置や手入れ、塗り替えなどを希望 ・ 育児休暇を男性が取得できるような職場環境 ・ 高齢者の運転（もみじマーク）や子ども達の自転車の運転マナーにハラハラすることが多い、子ども（小3以上）には運転免許証を発行しては？ ・ 健診の時に、一斉に相談を受けることが多い（子育ての相談場所にもなっている）



前期計画の評価と分析



成果発表で情報の共有を

○ 第3回専門委員会グループワーク

第3回専門委員会では、第2回専門委員会と同じく、5つのグループに分かれ、8つの基本目標ごとに「まだまだ改善が必要な取組」、「新しい取組の提案」、「優先して取り組むべき事業」について意見を出し合うことで、後期計画における具体的施策のヒントを得ることができました。

改善	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てパークの開催回数をもう少し増やせないか？（楽しかったので） ・小中学生の子育て中の親のボランティアの育成が必要。 ・すくすくクッキングの活動を広げる。（お年寄りと一緒に料理する） ・市民スポーツDAYなのに参加者数名程度？会場やプログラムを改めると良いかも。 ・児童虐待などの情報が、「いらん世話」を承知で近所の方が通告してほしい。
提案	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の親が交流等できる場づくり。（育児サークルなど横のつながり） ・公民館や市民会館を利用した子ども〇〇教室の開催。離島、半島部には移動教室で。 ・子育て情報のメルマガ。 ・小学生に自転車写真つき免許書の作成・配布はできないか？ ・チャイルドシートのみでなく育児用品のリサイクルができないか？ ・ベビーシッターの役割をシルバーの世代でできないか？
優先	<ul style="list-style-type: none"> ・人と人とのネットワークづくり。 ・親になる大人への教育、支援。 ・中高生の育児体験。 ・基本的な生活習慣や食育についての研修会の実施。 ・命の大切さを学ぶ。 ・5歳児健診。 ・女性が子どもを育てながら安心して働ける職場環境づくり。 ・育児休暇制度等関係法制度等の広報・啓発、情報提供。 ・要保護児童対策地域協議会の開催。

○ 第4回専門委員会グループワーク

第4回専門委員会では、これから津久見市が目指す姿として、キャッチフレーズの検討を行いました。キャッチフレーズに入れたい言葉・フレーズなどを自由に書き出してもらい、津久見の将来に対する想いと一緒に委員それぞれが皆さんに発表しました。下表に各委員が決めた言葉・フレーズとその理由・ポイントを整理しました。

言葉・フレーズ	理由・ポイント
自然の中でのびのびと	与えられた環境の中で育てるのではなく、自分で考え、自分から行動していく子に育てたい。(受身な子どもが多いので)
みんなで子育て・みがこう子ども もの心と体 パワー全開・キラキラ輝く津久見っ子 みんな笑顔輝く津久見っ子	笑顔があれば「元気になる」「幸せな気持ちになる」「優しい気持ちになる」 皆が幸せな時、笑顔になる 笑顔があれば人と人をつなぐことができる
共育	大人が子どもから教えてもらい、元気をもらうこともある。 だから、大人と子どもと一緒に育ち合うということで「共育」がいいのではないかと思いました。
輝く未来があなたにも！	これから津久見市を支えていく子ども達へ、未来は明るいよ(嫌なことばかりではない)どんな境遇の人にも…住みやすい、子育てしやすい街、子どもがのびのびと安全に育つ街
つくみの子	元気がいい 生き生きとした子どもに育てほしい
瞳かがやく	子どもが周囲の愛情に支えられながら成長していく姿をイメージし、どの子も輝かしい未来を目指してすくすくと大きくなっていく時に いつまでも瞳をかがやかせてほしいから！
手をつなごう！	手をさし出せば力にもなれるし、友にもなれる 困った時は助けてもらえる
市民みんなで子育て!! ときめく町づくり ふるさとに帰りたくなる町づくり	楽しみながら子育てをしたい
こぎ出せ	つくみのこどもとし、小さく固まらず 世界に向かってこぎ出せるようなこどもの育つ津久見市であって欲しい。
つくみの未来に ~夢~ 発見	この行動計画が(市民の方々に)津久見市の未来に夢を与えてくれますようにという願いも込めて…。
ふるさとは「つくみ」とはっきり言える子に	日出町や姫島村、九重町に比べると何か小さくなっているように感じるので、大きく書きました。
心によりそう子育ての町	子どもが育っていく基本は愛情(心)をそそぐことだと思います。 叱ることも、心があれば通じるもの…
好きになる事から始まる。(愛)	好きになる事から始まる

4. つくみ子ども育成支援行動計画庁内推進会議

(1) つくみ子ども育成支援行動計画庁内推進会議委員名簿

課 名	職 名	氏 名	備考
市民生活課 生活安全班	主 査	村 本 恵	
健康推進課 健康班	保健師	上 野 洋 美	委員長
秘書課 秘書・公聴広報班	主 幹	小野崎 宏	
まちづくり推進課 政策企画班	主 事	小 野 健 司	
都市建設課 管理建築班	主 査	渡 邊 圭	
学校教育課	課 長	仲 村 善 彦	
生涯学習課 生涯学習班	主 査	小 野 祥 子	
環境保全課 生活環境班	主 査	柴 田 幹 人	
福祉事務所	所 長	増 田 浩 太	
福祉事務所 障がい者支援班	主 幹	石 田 真 一	
福祉事務所 子育て支援班	主 査	戸 田 尊 道	
福祉事務所 子育て支援班	主 査	江 藤 章 子	
福祉事務所 子育て支援班	主 任	長 英一郎	

(2) つくみ子ども育成支援行動計画庁内推進会議設置要綱

(設置目的)

第1条 「つくみ子ども育成支援行動計画」(以下「行動計画」という。)に基づき、行動計画実施の把握、推進等、効果的な取組について情報交換し、互いに連携をとりながら事業の充実を図るため、「つくみ子ども育成支援行動計画」庁内推進会議(以下「推進会議」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 推進会議は、次に掲げる事項について調査検討を行い推進する。

(1) 行動計画に関する事項

(2) その他子育て支援に関する事項

(組織)

第3条 推進会議は、行動計画にかかわる庁内関係課で組織する。

2 推進会議は、15人以内の委員で組織する。

3 推進会議に委員長を置き、委員長は委員の互選によりこれを選任する。

4 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

5 委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、あらかじめ委員長の指名する委員がその職務を代理する。

(委員の任期)

第4条 委員の任期は、1年とし、再任は妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員会の会議)

第5条 委員長は、会議を招集し、その会議の議長となる。

(庶務)

第6条 推進会議の庶務は、福祉事務所において処理する。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、推進会議の運営に関し必要な事項は、委員長が推進会議に諮って定める。

附 則

1 この訓令は、平成15年12月25日から施行する。

2 最初の年度の委員の任期は、平成16年3月31日までとする。

3 この訓令は、平成27年3月31日限り、その効力を失う。